



所属学部/研究科	工学研究科
所属学科または専攻	
学年	研究科2年
留学開始時の学年	研究科1年
留学先大学	カーティン大学（オーストラリア）
留学先所属学部/研究科	特定の学部等には所属していませんでしたが、特定の研究室(ゼミ)活動へ参加しました。
留学開始日	2025-02-12
留学終了日	2025-07-09
1. 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	・大学院生も応募可能であったこと。 ・英語圏であること。 ・興味のある研究室分野があったこと。 ・その研究室の教授に選考前に連絡を取り、受入許可をいただけたため、思い描く留学生活への自信を持てたこと。
2. 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	国際交流機構が提供しているCCP（カンバーセーションパートナープログラム）や海外実務体験などに参加しました。
1. ビザの種類	Student (subclass 500)
2. ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	入学許可証（CoE/Confirmation of Enrolment）、OSHCの加入証明書、パスポート
3. ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	Australian Government Department of Home Affairs の公式サイトで ImmiAccount を作成し、申請書の入力と必要書類のアップロードを行う。
4. 面接の有無	なし
5. ビザ発行までの日数	1日
6. ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	
7. 荷物を別送しましたか？	はい
8. 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	発送方法→EMS、費用→3万程度（重量による）、日数→1週間程度
9. 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	
10-1. 日本から持参してよかったもの	サングラス、ビーチサンダル（シャワー時、ちょっとした移動時に便利）、ハンガー、洗濯ネットなど、洗顔/メイク用品など
10-2. 日本から持参する必要がなかったもの	マスク、タオル類
11. その他、渡航までに行った準備や手続きがあれば教えてください。（予防接種、健康診断、携帯電話等）	WISEという、海外送金の手数料を低く抑えるサービスを教えてもらい、アカウントを開設しました。
1. 利用フライト	乗継便
2. 航空会社・往路便名	タイ航空 TG673 (KIX→BKK) / TG483 (BKK→PER)

3. 現地空港到着時間	朝（6：00～8：00）
4-1. 大学からの送迎	有
4-2. 有の場合、料金	無料
4-3. 現地空港から自分で移動した人は、現地空港から大学までの移動方法、所要時間、交通費を教えてください。	
5. 渡航にあたっての注意点、アドバイスがあれば教えてください。	
1. 入国するにあたって、準備したこと	
2. 入国後の隔離措置など	
1. 種類	学生寮
2. 形態	1人部屋
3-1. 部屋の詳細	専有面積（㎡）:10 何人部屋:1
3-2. ルームメイト	
3-3. ルームメイトの国籍	
3-4. 自室の設備	収納（クローゼット） 机 椅子 ベッド インターネット設備（無線） 書棚 冷蔵庫 エアコン 暖房器具 その他
3-5. 共有部分の設備	エレベーター 共有スペース Wi-Fi テレビ ソファ キッチン トイレ 洗面台 シャワー 冷蔵庫 エアコン 洗濯機 乾燥機 その他
4. 居住環境、衛生状態など	入寮前に面接がありました。 寮生は全員で400人ほど。頻繁に寮内のイベントがあります。 週1回クリーニングサービスがあります。 トイレ・シャワーはユニセックスで、1日1回掃除があります。人によって使い方が異なるため、衛生状態には偏りがありました。 別途トイレ・シャワー付きの部屋もあります。 防音環境ではないです。夜10時以降の騒音は罰金対象なので、大きな音を立てないように気をつけていました。
5. 滞在先から大学へのアクセス	キャンパス内に寮があります。建物により5分～20分程度
6-1. 普段の食事の状況	その他:寮内
6-2. 上記の中で一番多く利用したもの	その他

6-3. 食事についてのアドバイス	特記事項無し
1. 現地大学到着時/後に行った手続き	入寮 学生証発行 その他:Wi-Fi
2-1. 渡航国の銀行口座の開設	無
2-2. 有の場合、銀行名	
3. 入国時、持参した現金額	～3万円
4-1. 日本から持参したカード	クレジットカード デビットカード
4-2. カードの内訳	クレジットカード2枚、デビットカード1枚
5-1. 主に利用した支払い手段	現金 デビットカード
5-2. 最も利用した支払い手段	デビットカード
6. お金の持参方法や、支払い手段、管理等のアドバイスがあればお願いします。	カード払いだと、場合によっては料金を上乗せされることがありました。逆に現金払いだと割引。キャッシュレスは確かに進んでいますが、現金も適度に持っていくことをおすすめします。
7. 学内施設（生活関連施設）	スーパー ジム 病院
8-1. 渡航先での携帯電話使用について	日本から持参したものを使用（Wi-fi環境下でのみ使用） その他:Wi-Fi環境下外でも使用可能
8-2. 渡航先での携帯電話・インターネット使用について特記事項があれば記入してください	寮含め学内ではeduroamが使えます。困ったことがあればIT担当の窓口に相談しに行きました。
1. 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について	多様な文化が混ざりあう環境の中でも、互いの違いを尊重し合う雰囲気があり、とても過ごしやすいです。
2-1. オリエンテーションの有無	有
2-2. オリエンテーションの参加	必須
2-3. オリエンテーションの内容	オーストラリアや大学についての説明、クイズ形式の紹介、Curtin Connectという交換留学生向け窓口の担当者紹介、オリエンテーションウィークの紹介と勧誘、フリーランチ
3-1. 履修登録のタイミング	出発前
3-2. 登録方法について	大学のOASISというサイトにて登録をします。 私の場合、登録後に授業の開講時間が変更され、受講したかった授業同士が重複し、別の授業を登録し直すように通知されました。
4-1. 授業について	1コマの時間:180分 1週間の授業コマ数:4コマ
4-2. 授業を理解して受けるための努力や工夫したこと	授業ごとに相談できる友だちをつくる。授業前後に教授に相談したりメールを送ったりしてもいい。 授業毎に提示される課題の予習・復習を必ず行う。授業の録画も活用する。 過去に同授業を受けた友だちがいればその人に相談する。
4-3. 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。	
5. 学修面で受けられるサポートと利用状況	利用はしていませんが、寮内にチューター制度がありました。
1. 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深	寮内のウェルカムイベントで自然と交友関係を築けます。その後はお互いの部屋を行き来したり、ご飯を一緒に食べたりして交流を深めていきました。

めましたか？	そこでできた友人を介して、新しく友人ができることも多かったです。基本的に、「誘われたら断らない」ことを徹底していました。そのために特に、課題や予習は余裕を持って終わらせるようにしていました。 またキャンパス付近にカーティン大学の学生がよく集まる場所があり、誘われて行くこともありました。
2. クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。	主に寮生向けのクラブに所属していました。数十種類のクラブが寮生によって展開されており、新しくクラブを立ち上げることもできました。 Tennis、Karaoke、Triviaなど多岐にわたり、様々な活動に参加していました。
3. 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？	友だちとショッピングやビーチ散策等遠出をしたり、学内のジムに通ったり、観光地に行ったりして過ごしていました。また、映画やゲームなど、友だちとオープン企画をして寮内でまったり過ごすこともありました。 週末は、様々な場所で各国のマーケットやフェスティバルが多々開催されており、友だちと誘い合って参加していました。 課題や試験の前は自室や寮の勉強スペースで友だちと勉強していました。
4. 留学中に就職活動をした人は、どのようなことをしたか教えてください。	面接は主に留学先で行いました。 留学中である旨を伝え、基本オンライン対応をしていただきました。 無事、留学先で内定をいただくことができました
5. 現地の生活に役立った情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。	
1-1. 合計費用	150万
1-2. 留学費用内訳	渡航費:19万 保険代:11万（学研災付帯海外留学保険7万+OSHC4万） 医療費:0 食費（1ヶ月あたり）:0 家賃（1ヶ月あたり）:20万 雑費（日用品等）:3千 通信費（1ヶ月あたり）:1千〜2.5千 テキスト:0 その他:10万
1-3. その他の内訳	
2-1. 奨学金の受給	有
2-2. 有の場合、奨学金名と金額（1ヶ月あたり）	海外留学奨学金 "link" 2024 Fall、25万円一括
2-3. 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	応募時には「留学計画」の記載を求められ、これが選考時の参考情報となります。 単なる留学計画を述べるにとどまらず、その経験を通して社会にどのように還元していけるのかといった点についても明確にアピールするように心がけました。
1. 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください	
2-1. 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありますか	いいえ
2-2. 体調を崩した際、どのように対処しましたか。	
3-1.留学中に病院に通いましたか？	いいえ
3-2. 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	
4-1. 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	いいえ
4-2. 落ち込んだ時、留学先で誰に相談しましたか？	

4-3. 落ち込んだ時や、ふさぎ込んだ時のアドバイスがあれば教えてください。	留学生が多いので、気持ちを共有できることが多いのは大きなポイントだと感じました。 毎日朝から晩まで一緒に生活していると、僅かな調子の変化にも気づいてくれます。温かく声を掛けてくれる場面をよく見かけました。 大学には、メンタルケアのサービスも整っています。必要に応じて通訳も手配していただけるようなので、言語の壁も感じなくて済むように思います。
5. 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	人間関係で少し困ったことがありました。寮長やRA (Resident Assistant) に相談し、解決までサポートしていただきました。 ちなみに「SafeZone」というアプリがあり、大学のSafer Community Teamに電話を繋げることができます。安心してキャンパス内で生活できるよう様々なサポートを受けることができます。
6. 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知っておくほうがいいことがあれば、教えてください。	治安はそこまで悪くない印象でしたが、夜のバスや1人歩きは控え、地下鉄や配車サービス (Uber・DiDi) を使うようにしていました。夜間、Perthの中心部に出かけた際、複数人でいても少し危険を感じる出来事がありました。それ以降は、信頼できる友人と一緒に、できれば男女混合のグループで行動するように心がけました。
7. 出発前に県大や留学先から提供してほしい情報があれば、教えてください。	学生寮に関する詳細な情報。キャンパス内の宿泊先を探すのにとても苦労しました。住む場所が決まらないことへのストレスは想像以上に大きかったです。
1-1. 卒業予定年月	2026年3月
1-2. 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業（修了）までの予定を教えてください。	
2. 今後の目標、進路について教えてください。（留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください）	将来的に海外で博士課程を学ぶことを選択肢のひとつとして考えています。 PhDの方々との交流で、そのスキルを活かして授業補助やTAとして経済的サポートを受けながら学ぶことが可能な環境に魅力を感じました。
3. 留学生活の感想と、留学前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。	留学生活は、単なる語学勉強を超え、国際社会の中で自分をどう表現し、自活的に関わっていくかを学ぶ大きな機会になりました。こうした貴重な経験を学生時代に積めたこと、そしてそれを叶えて支えてくれた家族、周囲の方々に心から心から感謝しています。 多様な背景を持つ人々と接する中で、以前よりも考え方がより柔軟になり、他者の価値観を受け入れる寛容さを得る一方で、絶対に譲れないことや守りたいことなど、自分なりの境界線をはっきりと認識できるようになりました。
4. 次に留学する人へのメッセージ	実際に留学して経験するからこそ得られる学びがありました。毎日の違和感や驚き、発見に向き合うからこそ、視野が広がり新たな価値観が得られました。ここで築いた関係は、私だけの大切な財産になったと考えています。 是非積極的に挑戦し、充実した時間を過ごして留学生活を楽しんでください。 応援しています。

交換留学 帰国後報告書
交換留学中の学修記録

記入年月日	2025 年 8 月 31 日				
学部・研究科/学年	工学	学部・研究科	2 年	留学開始時	1 年
留学先大学	カーティン大学				
留学先所属学部・研究科	☑特定の学部等に所属しなかった				
留学期間	2025 年 2 月 12 日 ～ 2025 年 7 月 9 日				

単位について

留学先で取得した単位数合計	3 Units/75 credits
本学で認定申請した単位数合計	単位
本学で認定された単位数合計	単位
☒ 単位認定の申請をしない 理由：修了に必要な単位数をすでに満たしているため	

履修科目について

交換留学先で履修した科目について、科目毎に記入してください。

①

登録授業名（現地言語で）	Australian Studies				
履修学期	2025 Semester 1	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル					
☒ 講義 ☒ チュートリアル ☒ ディスカッション ☐ プロジェクト ☐ 実験 その他（					

②

登録授業名（現地言語で）	Military Technology and the Arms Race				
履修学期	2025 Semester 1	単位数	25 単位	週の授業回数	1 回
授業のスタイル ☒ 講義 ☒ チュートリアル ☒ ディスカッション ☒ プロジェクト ☐ 実験 その他（ ）					
授業内容	ディスカッションでは、映画やゲームなどの戦いの場面を取り上げて、戦術や科学技術に関するケーススタディを行いました。				
試験・課題	ケーススタディ型プレゼンテーション、エッセイ課題 2 回				

③

登録授業名（現地言語で）		Korean Beginners 1					
履修学期	2025 Semester 1		単位数	25 単位	週の授業回数	2 回	
授業のスタイル ☒ 講義 ☒ チュートリアル ☐ ディスカッション ☐ プロジェクト ☐ 実験 その他（ ）							
授業内容	ハングル文字や簡単な韓国語について						
試験・課題	授業後課題、ウェブ試験 2 回、口頭試験						